

2021年9月24日
日本生命保険相互会社

当社初のサステナビリティ・リンク・ローンの実行について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、この度、東京センチュリー株式会社（社長：野上誠）に対し、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「当融資」）をコ・アレンジャーとして実行しました。当融資は、当社にとって初めてのサステナビリティ・リンク・ローンとなります。

サステナビリティ・リンク・ローンとは、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、金利などの借入条件をSPTsに連動させることで、借り手の目標達成のインセンティブを高め、環境・社会面で持続可能な経済活動と成長を促進し、支援することを目指す融資です。

当融資では、SPTsとして「①京セラ TCL ソーラー合同会社の太陽光発電事業による年間発電量およびCO2削減貢献量目標の達成、②二国間クレジット制度（JCM）の想定GHG削減貢献量（累計）目標の達成、③DX認定（経済産業省）の維持」を定め、その達成に応じて金利条件が変動します。

なお、当融資は、株式会社日本格付研究所により、ローン・マーケット・アソシエーション等が定めた「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省が定めた「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」との適合性、および設定したSPTsの合理性について第三者意見を取得しています。

当社は、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点から、環境問題の解決や社会貢献に資するESG投融資を積極的に実施しており、当融資もその一つと位置付けています。

今後も、社会公共性・投資採算性を踏まえ、ESG投融資を推進することで、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に寄与してまいります。

<案件概要>

企業名	東京センチュリー株式会社
実行日	2021年9月24日
当社融資額	35億円
SPTs	①京セラ TCL ソーラー合同会社の太陽光発電事業による年間発電量およびCO2削減貢献量目標の達成 ②二国間クレジット制度（JCM）の想定GHG削減貢献量（累計）目標の達成 ③DX認定（経済産業省）の維持

以上

2021-1705G, 広報部